

船舶事故等調査報告書

平成21年5月28日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2009長第38号	
事故等名	貨物船辰巳丸施設損傷	
発生年月日時刻	平成21年1月16日11時35分ごろ	
発生場所	長崎県平戸瀬戸 広瀬灯台から真方位210° 300m (北緯33° 22.7'、東経129° 34.05')	
事故等調査の経過	調査の概要:平成21年3月12日長崎・地方事故調査官が海難報告書を入手し、3月18日船長から口述聴取 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報	船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO番号) 船舶所有者等 貨物船 辰巳丸 699トン 133390 株式会社辰巳商会	
船種・船名・総トン数 船舶番号(IMO番号) 船舶所有者等		
乗組員等に関する情報	船長 三級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	船体 なし 工事用浮標 損傷	
事故等の経過	本船は、船首0.9m、船尾3.8mの喫水で、13.8ノットの対地速力で平戸瀬戸を北進中、牛ヶ首灯台に並航して広瀬南方に向けて右転したところ、北流に流されて、平成21年1月16日11時35分ごろ、工事用浮標に接触した。 当時、天候は曇りで、風力3の北西風が吹き、平戸瀬戸最狭部では3.8ノットの北流があった。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし あり なし 本船は、北流に対する配慮を適切に行わず、牛ヶ首灯台に並航して広瀬南方に向かう右転の時機が遅かった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が平戸瀬戸を北進中、北流に対する配慮を適切に行わず、早めに右転しなかったため、工事用浮標に接触したことにより発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	船長は、平戸瀬戸では潮待ちをし、時間的余裕があれば平戸島北方を通航することとした。	